

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書 (ASEAN)

担当講師	内野 智裕氏 (厚生労働省人材開発統括官付海外協力室・海外協力交渉専門官) 西谷 賢二氏 (パナソニック株式会社 マニュファクチャリングイノベーション本部 成形技術開発センター研究管理部研究管理課 成形スクール担当主務) 稲川 文夫氏 (SESPP事務局技術顧問)
実施期間	2022年1月18日(火)～1月20日(木)
実施場所 【リモート開催】	カンボジア、インドネシア、マレーシア、ベトナム、タイ各国拠点 日本国内各拠点 (パナソニック株式会社、スタジオオルウェイズ等)
研修	ASEAN 技能評価担当者セミナー (AAS)
実施職種	機械製図 CAD 作業

2022年2月

結果概要

1. 対象者数：AAS* プレゼンター数 5 名 / オブザーバー数 9 名

*AAS (ASEAN Assessment and Marking Method) ASEAN 技能評価担当者セミナーとは ASEAN 対象国 5 ヶ国の技能評価担当者もしくは職業訓練指導員を対象に、日本の技能検定、競技大会の技能評価システムの運営方法、デモンストレーション、各国の技能評価システムの現状の共有を目的に実施するものである。ASEAN として取り組む技能標準作りや競技大会の実施を支援するために、対象国技能評価担当者がこの事業をより深く理解できるよう、厚生労働省人材開発統括官付海外協力室担当者、SESPP 事務局技術顧問による講演及び専門家による講習（今回は CAD 製図）を実施した。

2. 日程

日時	指導内容
1 月 18 日 (火) 10:30~18:00 (日本時間)	【ASEAN 技能評価担当者セミナー CAD 製図】 ・会場準備作業、機材セッティング調整、スタジオカメラポジション確認 ・関係者紹介打ち合せ (スタジオ配信技師・SESPP 事務局・通訳) ・ASEAN 5 会場接続テスト (音声及びカメラワーク確認) ・スケジュール説明・注意事項説明・主要登壇者 (講演者) 紹介 ・「SESPP 事業の概要・AAS の目的」SESPP 事務局 岩下 崇 講演 「技能検定制度の概要」厚生労働省 内野 智裕氏 ・質疑応答 ・昼食休憩 (COVID-19 対策・換気・消毒) 各地 「技能検定と技能競技大会の技能レベル」SESPP 事務局 稲川 文夫氏 ・質疑応答
1 月 19 日 (水) 10:30~18:00	【ASEAN 技能評価担当者セミナーCAD 製図】 ・機材セッティング確認及び接続確認 「国家検定 CAD 製図の概要」パナソニック株式会社 西谷 賢二氏 ・質疑応答 ・昼食休憩 (COVID-19 対策・換気・消毒) 各地 「CAD 製図の実装事例」パナソニック株式会社 西谷 賢二氏 ・質疑応答 「ベトナム技能評価システムの現状」Dr. Nguyen Chi Truong (グエン・チ・チュオン) ベトナム社会主義共和国・労働・傷病兵社会問題省 職業訓練教育総局職業能力開発局長 ・質疑応答 ・明日以降のスケジュール確認

<p>1月20日(木) 10:30~18:00</p>	<p>【ASEAN 技能評価担当者セミナー-CAD 製図】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタジオ連絡・配信オペレータ打ち合せ、接続確認 「タイ技能評価システムの現状」 Mr. PATINYA SANSUWAN (パティニーヤ・サンスワン) タイ王国・スパンブリー技能開発研究所 ・ 質疑応答 「インドネシア技能評価システムの現状」 Mr. Bambang Nurcahyono (バンバン・ニョルチハヨノ) インドネシア共和国・金属加工及び機械専門家認定機関 ・ 質疑応答 「マレーシア技能評価システムの現状」 Mr. IRWAN BIN MOHD AMIR (イヴァン・ビン・ムハマド・アミル) マレーシア・職業訓練指導員・上級技能訓練センター ・ 質疑応答 ・ 昼食休憩 (COVID-19 対策・換気・消毒) 各地 「カンボジア技能評価システムの現状」 Mr. BUN Heang (ブン ヘン) カンボジア王国・労働省技能評価室長 <p><u>クロージング</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総括：SESPP 技術顧問 稲川文夫氏 ・ 閉会挨拶：厚生労働省 内野智裕氏 ・ アンケート回答
---------------------------------	---

3. 講評 (稲川講師)

ASEAN セミナーに参加いただき、そして、活発な意見交換をしていただいたことにお礼申し上げます。今回のセミナーの目的は、参加国で実施している技能検定と技能競技大会に関する情報を交換し、経験とノウハウを共有することによって、皆さんの国で技能検定や技能競技大会の改善や拡充に役立てていただくことです。また、3日間のセミナーを通して、参加者皆さんの間でネットワークが構築されたので、より詳細な情報を得たいと思ったときは、容易に連絡が取れる状況になったと思います。

5名の発表者からは、多くの有意義な情報が提供されました。

例えば、ベトナムの発表者から、ベトナムは ASEAN Skills Competition において情報ネットワーク施工職種で2回金メダルを獲得しているという報告がありました。もし、皆さん方が、ベトナムにおける「競技者の育成方法」や「技能競技大会の運営方法」などについてさらに詳細な情報が知りたいならば、DVETの発表者に連絡を取ることが出来ます。

また、インドネシアからは機械検査職種に関して、日本の総合技能評価方式の技能検定基準を参考にして、コンピテンスベースのインドネシア版 NOSS を構築した報告がありました。機械検査職種の NOSS は、レベル3は5ユニットで構成されており、レベル2は6ユニット、そして、レベル1は10ユニットで構成されているとのことです。もし、ベトナムで機械検査職種の日本の技能検定基準を活用して、ベトナム版 NOSS を構築する場合には、インドネシアの発表は好事例として参考になります。

タイとマレーシアからは、NISS や NOSS 基づいて技能検定を実施していることが発表されました。

これらは、技能検定を効果的に実施するために有益な情報です。

SESPP は、全参加者が皆さんの国において技能評価システムを改善し、拡充して実りある成果をあげられることを期待しています。

4. アンケート結果

◆受講者 14名（回答者14人）

満足度： 大変満足=9人 満足=4人 どちらともいえない=1人
役立ち度： 大変役立つ=10人 役立つ=4人

【この研修から得た知識と経験を、現在の仕事にどのように活用したいですか？】

- ・ 訓練生や産業従事者の育成
- ・ 評価基準
- ・ 今回技能検定試験について学んだ内容を政策や技能評価システム移転促進事業の開発
- ・ 研修で入手した資料を有効活用したい
- ・ 日々の業務
- ・ 国家技能標準（NOSS）の開発に活かす
- ・ 2日目のセミナーでいただいたCAD製図に関する知識や資料を自国に導入したい
- ・ ASEAN各国の技能評価システムを知ること、技能検定や技能競技大会の更なる発展への相互啓発になると思う
- ・ 地域のポリテク研究所や企業での技能大会を促進し、特にCAD製図業務に応用する
- ・ 地域の技能競技大会を促進する
- ・ ASEANの評価レベルを理解し、インドネシアの在り方を知る
- ・ 産業検定委員会とCAD製図技能検定チームを巻き込んだ専門家や学識経験者によるSKKNI（Standard Kompetensi Kerja Nasional Indonesia）インドネシアの技能適性基準及び日本の技能検定に準拠した教材の開発

【ASEANセミナーでもっと学びたかったことは何ですか？】

- ・ CNC機械加工
- ・ 各プログラムの期間（全日制の場合）について
- ・ 日本での技能検定
- ・ 日本の技能検定制度における成功のポイント
- ・ 日本およびASEAN諸国の技能評価を理解するための評価者のあり方について
- ・ 技能標準と技能試験の開発
- ・ 国際技能競技大会に向けた各国の準備方法について
- ・ 技能評価開発のノウハウ
- ・ 溶接ロボット・機械保全分野の評価制度

【今回の研修実施内容について、改善、提案などございますか？】

- ・ 参加型または実践的な内容
- ・ 対面式（3）
- ・ とても有益な内容だった
- ・ CAD製図に関するプレゼンは、社内技能大会などオンラインで実施できるのでは？など参考になった
- ・ 評価者養成コースに適した内容だと思う
- ・ 日本の実際の試験実施現場を見学したい
- ・ 日本式の評価システムの説明がわかりやすかった
- ・ このセミナーにまた参加したい
- ・ 間合いがすこし長い様に感じた
- ・ プレゼンテーション資料は参加者全員に送付し、セミナーの提案は可能な限りオフラインで実施して欲しい

【今後学びたい内容、その他、ご意見・ご感想がありましたら教えてください】

- ・ プラスチック金型
- ・ 評価制度（２）と認定制度
- ・ すべての発表内容が自身の業務内容にとって有益でした
- ・ CAD 製図の技能検定に関わる以前は、技能五輪上海大会の CNC フライスの選手として参加するので、CNC フライス盤の職種に関するセミナーが開催されるとありがたい
- ・ Day1 の発表が良かった
- ・ CAD 製図や製造技術を学びたい
- ・ ソフトウェアを利用して導入する方法を学びたい
- ・ 日本全国技能競技大会の準備・運営方法
- ・ QR コードでうまくアンケートのサイトに移行できなかった
- ・ CAD 図面資料の評価に関する内容はすべて実施している
- ・ CAD 製図に関するセミナーは、参加者が CAD の専門知識を保有している必要があるため、評価者講習に適している、AAS の参加者は主に政府関係者であり、CAD の専門知識を持たない人もいたので、社内競技大会をもっと理解するために、どのように採点するのかについての概要講義を聞きたいと思いました